

第 10 課 学問の冒険-----

本文

雑木林をあてもなく歩くのが好きだ、と私は前に何度か書いた。雑木林には、さまざまな動植物が生きていて、一つのダイナミックな調和をつくっている。わたしはそれを美しいと思う。全てがその調和の中に生き生きと息づいているからである。

私はスギやヒノキなど植えられた純林をあまり好きではない。整えられた純林を美しいと思う人も少なくないだろうが、純林には限られた種類の鳥や昆虫しか棲んでいない。樹林の下生えの植物も貧しいものだ。純林には、そこに植えられている木だけを食べる昆虫がやってくる。その昆虫を食べる動物が少ないので大発生し、農薬で退治するという方法が取られる。そういう意味で、純林は、生きものを排除した林ということができよう。つまり、雑木林のように生き生きとして感じられないから、私は純林が好きではなく、また美しいとも思わないのである。

人間が育つ環境も純林型と雑木林型に分かれるのではないか、というと奇異に感じられるかもしれない。しかし、例えば現代の日本の画一化された教育環境などは、純林といえまいか。そこでは個性とか資質とかを育てるよりも、ひとつの標準的規格にはめ込むことが、主として行われている。それが整然と一種類の木を植えて育てる純林のように、私の目には映るのである。

といえ、私が望んでいる教育環境がどんなものか、およそ察してもらえらう。植物に例えていえ、スミレの資質をもった子どもはスミレとして育ち、大木の資質をもった子どもは、大木として育つような環境が望ましい、と私は考えている。それは種々雑多な動植物が各々の住処を得て、それぞれ精一杯生きている雑木林の姿に似ている。そして純林の教育ではなく、雑木林の教育の中からこそ、個性的な人間が育ち、彼らによって独創的な仕事が生まれるものだと私は信じて疑わないのである。

河合雅雄「学問の冒険」

単語

冒険 (ぼうけん) ①	〔名〕	冒险。
雑木林 (ぞうきばやし) ①	〔名〕	杂木林。
当て (あて) ①	〔名〕	目标。
ダイナミック ④	〔形动〕	强有力的。活跃的。
調和 (ちょうわ) ①	〔名・サ自〕	调和。协调。
生き生き (いきいき) ③	〔副・サ自〕	生动。栩栩如生。
息づく (いきづく) ③	〔五自〕	生活。呼吸。
スギ ②	〔名〕	杉树。
ヒノキ ③	〔名〕	扁柏。
純林 (じゅんりん) ①	〔名〕	单一树林。
整える (ととのえる) ④	〔下一他〕	调整。塑造。
棲む (すむ) ①	〔五自〕	栖息。
樹林 (じゅりん) ①	〔名〕	森林。
下生え (したばえ) ①	〔名〕	林中丛生的草。
農薬 (のうやく) ①	〔名〕	农药。
退治 (たいじ) ①	〔名・サ他〕	扑灭。

排除（はいじょ）①	〔名・サ他〕	排除。
奇異（きい）①	〔形動〕	奇异，奇特。
画一化（かくいつか）①	〔名〕	整齐划一。一律。
資質（ししつ）①	〔名〕	资质。素质。
規格（きかく）①	〔名〕	规格。
嵌めこむ（はめこむ）③	〔五他〕	嵌入。
整然（せいぜん）①	〔形動〕	井然。整齐。
映る（うつる）②	〔五自〕	映入眼帘。
望む（のぞむ）①	〔五他〕	期待。
察する（さっする）①③	〔サ他〕	推测。
スマレ ①③	〔名〕	东北莖菜。
大木（だいぼく）①	〔名〕	大树。
種々（しゅじゅ）①	〔名・副・形動〕	种种。各种各样。
雑多（ざった）①	〔形動〕	各种各样。五花八门。
各々（おのおの）②	〔名・副〕	各自。
住処（じゅうしょ）①	〔名〕	住所。
精一杯（せいいつぱい）③	〔名・副〕	尽力。
独創（どくそう）①	〔名・サ他〕	独创。

文型と表現

～よう

此为推量助动词，接在动词未然形后，表示推测。サ变动词用「しよう」的形式。

- 今日は曇っているが、明日は晴れよう。
- あんな言葉づかいではお里が知れよう。
- 病状がだんだん好転しよう。

練習

練習Ⅰ 本文の内容に沿って、次の質問に答えなさい。1、2、3、4から最も適当なものを一つ選びなさい。

問題 1. 「純林をあまり好きではない」のはなぜですか。

1. スギやヒノキがあまり好きではないから。
2. 動植物が限られているから。
3. 昆虫が大発生するから。
4. 農薬で昆虫を退治しなければならないから。

問題 2. 「私が望んでいる教育環境」とは、どんなものですか。

1. 大木の資質をもった子どもが育つ教育環境。
2. 子どもたちのそれぞれの資質が伸ばせるような教育環境。
3. 動物や植物物を愛する子どもたちが育つような教育環境。
4. 個性的な人間が別々に育てられるような教育環境。

練習Ⅱ 次の文章を読んで、質問に答えなさい。

父の誕生日にネクタイをあげようと思って駅の近くにある大きな店に入った。綺麗なネクタイがたくさん並んでいたが、とくに綺麗なのを3本選んだ。けれども、その中でどれが一番いいか、なかなか決められないので、私はしばらく考えていた。そうしたら店の人が「家に持っていてもいいですよ。お父さんに聞いてみたら。」と言った。そして、まだお金を払っていないのに、ネクタイを3本袋に入れてくれた。私はちょっと驚いたけれど、御礼を言ってネクタイを家に持って帰った。この親切な店員のおかげで、私は父が一番好きなネクタイをプレゼントすることができた。

問題 1. どうして驚いたのですか。

1. 綺麗なネクタイがたくさん並んでいたから。
2. ネクタイを家に持っていてもいいと言われたから。
3. 店の人がネクタイを 3 本も袋に入れたから。
4. 店の人がネクタイをくれたから。

問題 2. だれがどこでネクタイを選びましたか。

1. 父が店で選びました。
2. 私が店で選びました。
3. 私が家で選びました。
4. 父が家で選びました。